

	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日		△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△	1	DIS-D-03518 (03518)	二宮	清水	99.08.03	△					
△						△					
適用規格											
定格	使用温度範囲	-55℃～+85℃(RH90%以下)				保存温度範囲	-55℃～+85℃(RH90%以下)				
	電力					特性インピーダンス	50Ω(0～6GHz)				
	特殊性					適合ケーブル					
性能											
	項目	試験方法				規格			QT	AT	
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。			○	○	
	表示	目視にて確認する。							—	—	
電気的 性能	接触抵抗	100mA(DC OR 1000Hz)以下で測定する。				中心コネクタ	14mΩ以下		○	○	
						外部コネクタ	9mΩ以下		○	○	
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。				500MΩ以上			○	○	
	耐電圧	AC 500Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)				せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	○	
	電圧定在波比	周波数 0.045～6GHzにて測定する。				VSWR	△ 1.2以下		○	—	
	挿入損失	周波数～GHzにて測定する。				dB以下			—	—	
機械的 性能	単体挿抜力 (HRM側)	+0.005 φ0.91 ⁰ の鋼製ピンで測定する。				差込力	N以下		—	—	
						引抜き力	1.5N以上		○	○	
	総合挿抜力 (MMCX側)	適合コネクタで測定する。				差込力	15N以下		○	—	
						引抜き力	6N～15N		○	○	
	繰り返し動作	500回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗: 中心コネクタ 28mΩ以下 外部コネクタ 18mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	耐振性	周波数 10～500Hz、片振幅 0.75mm、 加速度 98m/s ² で3軸方向各12サイクル (計36サイクル)試験する。				① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
環境的 性能	耐衝撃性	加速度 735m/s ² 、持続時間 6ms、 正弦半波 3軸方向各3回試験する。							○	—	
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。				① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。			—	—	
	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 +25～+65℃、湿度 90～96%中に 10サイクル(240時間)放置する。				① 絶縁抵抗: 10MΩ以上(高温時) ② 絶縁抵抗: 500MΩ以上(乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	温度サイクル	温度 -55→20～35→85→20～35℃ 時間 30→3→30→3分 を5サイクル試験する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
	塩水噴霧	濃度 5%の塩水、48時間放置する。				はなはだしい腐食がないこと。			○	—	
備考						製図	担当	検図	承認	出図	
						RF技 99.4.15 三宮	RF技 99.4.15 三宮	RF技 99.4.16 三宮	RF技 99.4.15 三宮		
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.						製品規格表			製品名 HRMJ-MMCXP		
旧CL			図番			製品コード			1		
CL			SLC4-134344			CL311-0313-4			1		